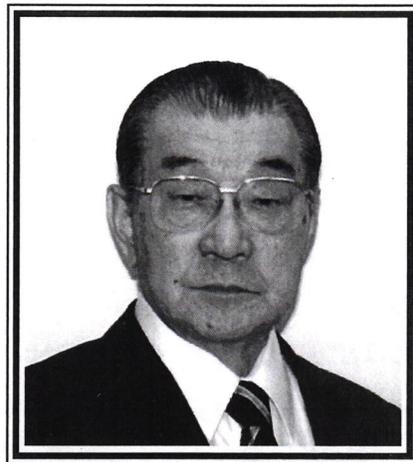


長瀧先生の急逝を悼む

(公財) 公益法人協会 理事長 太田 達男



元放射線影響研究所理事長、長崎大学名誉教授で、当協会の理事・長瀧重信氏が去る11月12日急逝されました。84歳でした。

同氏は、平成18年4月より現在まで当協会の理事を10年余りお務めいただいております、その医師ならびに医学系の大学教授（東京大学、長崎大学）としての研究やご経験に加え、自然科学系の公益法人（(公財)放射線影響協会、(公社)日本アイトープ協会等）の理事長や常務理事等の役員としてのキャリア等から、当協会の経営方針等について、ご指導ならびにご支援をいただいていたところです。

同氏は常日頃から極めてジェントルマンライクで温厚なお人柄から、各界より敬愛されていましたが、専門分野（放射線関連の医学等）においては、理論的な実験や科学的に立証された事実以外は頑として認めず、感覚的な意見や憶測に基づく発言は厳しく排除されていました。このことは、チェルノブイリの事故の調査や東日本大震災における放射能被害調査等第一線での活躍の際にも発揮され、「サイエンスとポリシーを混同してはいけない」として最後まで筋を貫いていたと聞いています。

当協会の関連においても、ある一般社団法人の公益認定申請に絡み、公益認定等委員会の不

認定答申中における、医師のリビングウィルの受け止め方について、同委員会の事実誤認と思われる記述に対し、多くの医師や大学教授からその実態を聴取し、その真実を明らかにされたこと*などは、氏の面目躍如たるところでありました。

*『終末期医療についての個人的な経験と情報—普通の医師の感覚—』（弊誌2014年8月号）参照。

このように公私ともにお元気にご活躍中の同氏が、急逝されたことはいまだに信じ難いところですが、ご家族の皆様にとってみれば、さらに断腸の思いのすることでありましょう。心からお悔やみ申し上げますとともに、氏の安らかなご冥福をお祈りいたします。

合掌

- | | |
|-----|-----------------------|
| 昭32 | 東京大学医学部卒 |
| 昭55 | 同大学附属病院外来医長 |
| 平6 | 長崎大学医学部長 |
| 平9 | 同大学名誉教授 |
| 同 | 財団法人放射線影響研究所(日米共同)理事長 |
| 平13 | 文部科学省放射線審議会会長 |
| 平14 | 公益社団法人日本アイトープ協会常務理事 |
| 平18 | 公益財団法人公益法人協会理事 |
| 平23 | 内閣官房原子力災害専門家グループ |
| 平24 | 公益財団法人放射線影響協会理事長 |